

**CASBEE 広島 2016年版**  
**広島市医師会運営・安芸市民病院**

■使用評価マニュアル CASBEE 広島 2016年版  
 ■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階						
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体		
		<b>Q 建築物の環境品質</b>						<b>3.4</b>
<b>Q1 室内環境</b>			0.40		-		<b>2.9</b>	
<b>1 音環境</b>		<b>2.7</b>	0.15	<b>2.1</b>	1.00		<b>2.6</b>	
1.1 室内騒音レベル		<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.40			
1.2 遮音		<b>2.4</b>	0.40	<b>1.9</b>	0.40			
1 開口部遮音性能		3.0	0.40	3.0	0.30			
2 界壁遮音性能		2.0	0.60	2.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	1.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	1.0	0.20			
1.3 吸音		<b>3.0</b>	0.20	<b>1.0</b>	0.20			
<b>2 温熱環境</b>		<b>2.1</b>	0.35	<b>2.4</b>	1.00		<b>2.2</b>	
2.1 室温制御		<b>3.3</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.50			
1 室温		3.0	0.38	3.0	0.57			
2 外皮性能		3.0	0.25	3.0	0.43			
3 ゾーン別制御性	ゾーン別に冷房・暖房の切り替えが可能	4.0	0.38		-			
2.2 湿度制御		<b>1.0</b>	0.20	<b>3.0</b>	0.20			
2.3 空調方式		<b>1.0</b>	0.30	<b>1.0</b>	0.30			
<b>3 光・視環境</b>		<b>2.3</b>	0.25	<b>3.6</b>	1.00		<b>2.5</b>	
3.1 昼光利用		<b>1.8</b>	0.30	<b>4.2</b>	0.30			
1 昼光率	病室の昼光率1.25%以上の確保	1.0	0.60	5.0	0.60			
2 方位別開口			-	3.0	-			
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.40			
3.2 グレア対策		<b>2.0</b>	0.30	<b>4.0</b>	0.30			
1 昼光制御	カーテン、庇によりグレア対策を行う	2.0	1.00	4.0	1.00			
3.3 照度		<b>3.0</b>	0.15	<b>3.0</b>	0.15			
3.4 照明制御		<b>3.0</b>	0.25	<b>3.0</b>	0.25			
<b>4 空気質環境</b>		<b>4.4</b>	0.25	<b>4.2</b>	1.00		<b>4.3</b>	
4.1 発生源対策		<b>5.0</b>	0.50	<b>5.0</b>	0.63			
1 化学汚染物質	建築基準法規制対象外となる建築材料を採用している	5.0	1.00	5.0	1.00			
4.2 換気		<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.38			
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33			
2 自然換気性能		3.0	-	3.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33			
4.3 運用管理		<b>5.0</b>	0.20		-			
1 CO <sub>2</sub> の監視		3.0	-		-			
2 喫煙の制御	建物内部は禁煙とする	5.0	1.00		-			
<b>Q2 サービス性能</b>		-	0.30	-	-		<b>4.0</b>	
<b>1 機能性</b>		<b>4.2</b>	0.40	<b>4.8</b>	1.00		<b>4.2</b>	
1.1 機能性・使いやすさ		<b>3.0</b>	0.40	<b>5.0</b>	0.60			
1 広さ・収納性	病室は十分な広さを確保している	3.0	-	5.0	1.00			
2 高度情報通信設備対応		3.0	-	3.0	-			
3 バリアフリー計画		3.0	1.00		-			
1.2 心理性・快適性		<b>5.0</b>	0.30	<b>4.5</b>	0.40			
1 広さ感・景観	病室の天井高さは2.5mを確保している	3.0	-	4.0	0.50			
2 リフレッシュスペース		3.0	-		-			
3 内装計画	レベル5の取り組みをしている	5.0	1.00	5.0	0.50			
1.3 維持管理		<b>5.0</b>	0.30		-			
1 維持管理に配慮した設計	レベル5の取り組みをしている	5.0	0.50		-			
2 維持管理用機能の確保	レベル5の取り組みをしている	5.0	0.50		-			
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>4.2</b>	0.30		-		<b>4.2</b>	
2.1 耐震・免震・制震・制振		<b>5.0</b>	0.50		-			
1 耐震性(建物のこわれにくさ)	建築基準法に定められた50%増の耐震性を有する	5.0	0.80		-			
2 免震・制震・制振性能	免震構造の採用	5.0	0.20		-			
2.2 部品・部材の耐用年数		<b>3.0</b>	0.30		-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20		-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20		-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10		-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10		-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	15年に計画	4.0	0.20		-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20		-			
2.4 信頼性		<b>4.0</b>	0.20		-			
1 空調・換気設備	レベル5の取り組みをしている	5.0	0.20		-			
2 給排水・衛生設備	レベル5の取り組みをしている	5.0	0.20		-			
3 電気設備	レベル4の取り組みをしている	4.0	0.20		-			
4 機械・配管支持方法	レベル4の取り組みをしている	4.0	0.20		-			
5 通信・情報設備		2.0	0.20		-			
<b>3 対応性・更新性</b>		<b>3.7</b>	0.30	<b>3.8</b>	1.00		<b>3.7</b>	
3.1 空間のゆとり		<b>4.6</b>	0.30	<b>4.6</b>	0.50			
1 階高のゆとり	階高は3.9m以上確保	5.0	0.60	5.0	0.60			
2 空間の形状・自由さ	壁長さ比率は0.1以上0.3未満	4.0	0.40	4.0	0.40			
3.2 荷重のゆとり		<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.50			
3.3 設備の更新性		<b>3.6</b>	0.40		-			
1 空調配管の更新性		3.0	0.20		-			
2 給排水管の更新性	構造部材を痛めることなく更新・修繕ができる	4.0	0.20		-			
3 電気配線の更新性	構造部材、仕上げ材を痛めることなく更新・修繕ができる	5.0	0.10		-			

	4	通信配線の更新性	仕上げ材を痛めることなく更新・修繕ができる	5.0	0.10		-	
	5	設備機器の更新性		3.0	0.20		-	
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>				-	0.30		-	3.4
<b>1 生物環境の保全と創出</b>				2.0	0.30		-	2.0
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>				4.0	0.40		-	4.0
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>				4.0	0.30		-	4.0
	3.1	地域性への配慮、快適性の向上	レベル5の取り組みをしている	5.0	0.50		-	
	3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50		-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>								3.1
<b>LR1 エネルギー</b>				-	0.40		-	3.0
<b>1 建物外皮の熱負荷抑制</b>				5.0	0.20		-	5.0
<b>2 自然エネルギー利用</b>				3.0	0.10		-	3.0
<b>3 設備システムの高効率化</b>				[BE][BEIm]: 0.93	2.3	0.50		2.3
<b>4 効率的運用</b>				3.0	0.20		-	3.0
	集合住宅以外の評価			3.0	1.00		-	
	4.1	モニタリング		-	-		-	
	4.2	運用管理体制		3.0	1.00		-	
	集合住宅の評価							
	4.1	モニタリング		3.0	-		-	
	4.2	運用管理体制		3.0	-		-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>				-	0.30		-	3.4
<b>1 水資源保護</b>				3.4	0.20		-	3.4
	1.1	節水	節水コマ、省水型機器の採用	4.0	0.40		-	
	<b>1.2 雨水利用・雑排水等の利用</b>			3.0	0.60		-	
	1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70		-	
	2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30		-	
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>				3.6	0.60		-	3.6
	2.1	材料使用量の削減		3.0	0.11		-	
	2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.22		-	
	2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.22		-	
	2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	ビニル系床材、陶磁器質タイル	4.0	0.22		-	
	2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-		-	
	2.6	部材の再利用可能性向上への取り組み	レベル4の取り組みをしている	5.0	0.22		-	
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>				3.0	0.20		-	3.0
	3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30		-	
	<b>3.2 フロン・ハロンの回避</b>			3.0	0.70		-	
	1	消火剤		-	-		-	
	2	発泡剤(断熱材等)		-	-		-	
	3	冷媒		3.0	1.00		-	
<b>LR3 敷地外環境</b>				-	0.30		-	2.9
<b>1 地球温暖化への配慮</b>				3.2	0.33		-	3.2
<b>2 地域環境への配慮</b>				3.2	0.33		-	3.2
	2.1	大気汚染防止		3.0	0.25		-	
	2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.50		-	
	<b>2.3 地域インフラへの負荷抑制</b>			4.0	0.25		-	
	1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25		-	
	2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
	3	交通負荷抑制	レベル5の取り組みをしている	5.0	0.25		-	
	4	廃棄物処理負荷抑制	レベル5の取り組みをしている	5.0	0.25		-	
<b>3 周辺環境への配慮</b>				2.4	0.33		-	2.4
	<b>3.1 騒音・振動・悪臭の防止</b>			3.0	0.40		-	
	1	騒音		3.0	0.33		-	
	2	振動		3.0	0.33		-	
	3	悪臭		3.0	0.33		-	
	<b>3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制</b>			1.6	0.40		-	
	1	風害の抑制		1.0	0.70		-	
	2	砂塵の抑制		1.0	-		-	
	3	日照阻害の抑制		3.0	0.30		-	
	<b>3.3 光害の抑制</b>			3.0	0.20		-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70		-	
	2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	